



2026年3月号

(文責：野呂美道)

水害のアンケート

水害のアンケートに三和町の方々が協力していただきました。回収率96%という素晴らしいものでした。項目別・地域別に分析した結果を以下に載せます。

- ① 一番困ることは「水」の確保。次に避難できるかどうか、停電したらどうする、という順。
水は農業用の井戸などで確保できないか？ でも、水没したら使えない。
- ② 避難することは各家庭でしっかり決めている。どこに避難するかは不明。
- ③ 避難経路も半数以上は決めている。
- ④ 上北条は立田中学に近いので、そこに逃げるといった意見が多かった。他の地区は遠いので、別のところに逃げるのだが、どこに？
- ⑤ 避難備品では懐中電灯はそろっているが、生理用品が不足。
- ⑥ 防災訓練に参加した家庭が多かった。
- ⑦ 逃げ地図は、以前全戸配布したのに、貼ってあるところは3割に満たなかった！
- ⑧ 家族同士の避難計画・近所の人達との水害時の話はしていない状況が目立った。
- ⑨ 水害対策については「ややできていない」が多かった。
- ⑩ 過去のエピソードや現在の問題点
 - ★子どもは手をつなぐのではなく、服の縫い目をしっかり持たせる。
 - ★ペットの扱いをしっかりと考えてほしい。
 - ★トイレの使用方法についての対策。



★伊勢湾台風時、1か月停電。祖母がうどんを打ってくれた。被災孤児がクラスに編入してきた。

★輪中は守っていくべき。伊勢湾台風で、立田地区は輪中堤のおかげで水が止まった。

2月1日、防災会議

全体会のあと、4班に分かれて、ワークショップ形式で、活発な意見が出されました。

- 1, 水害一日前
- 2, 水が来た
- 3, どんどん増水
- 4, 二階まできそう、という状況の中で、私たちは何をどうするかという設定で、討論が行われました。以下に紹介します。



水害時の対応

項目	1 一日前	2 水が来た	3 どんどん増えて	4 2階まで水が来た
1班	★備蓄品の確認★ 2Fに貴重品を移動★車の移動★避難所に避難	★情報の収集★むやみに外出をしない穂sj比	★家の中で一番高いところに逃げる★トイレが使用できないかも	★水、食料が亡くなる★電気が来ない★救助の要請★衛生状況の悪化★
2班	★備品の点検★避難経路の確認★ボートの確認★2Fに貴重品を移動	★移動するための手段を確保★近所の人に声をかける★逃げ始める★	★2Fに上がる★ライフジャケットを着る★携帯のGPS装置をON	★安否の確認★旗を振る★ボートを利用する★冷蔵庫を探す
3班	★スマホやラジオ、水や食料を確認★買い物に行く★鍋・風呂に水を	★避難する、高齢者とともに★リュックをしょって自宅2階に★数日	★体を濡らさない★安否確認★情報を得る★あるものをどう使うか★	★近所同士助け合う
4班	★備蓄品を高いところに移動	★避難所に行く	★	★SOS

このように、皆さんが実際に災害が起きたことを想定して、真剣に議論し合うことは、意識の発揚という点では、絶大な効果があることを実感しました。この話し合いで出された問題点を、どう解決していくかが、三和町独自の防災計画を立てることになります。

次回は地震編

この次の話し合いは **4月5日（日）10:00～12:00** と決まりました。それまでに、今度は三和地区の方々に、地震が起きた時の避難について、ふたたびアンケートをお願いしています。また、同じように会議ではワークショップを開きます。興味のある方はどなたでも参加できます。是非お越しください。